

若手教員〔初任者〕研修講座（小学校）第3日の様子を紹介します



▲次期学習指導要領について講義する鳴川先生



▲グループワークで意見を交換し合う受講生



▲授業づくりのポイントを考えました。

5月10日（水）に、若手教員〔初任者〕研修講座（小学校）の第3日が、大研修室で行われました。午前中は文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 鳴川哲也先生から、学習指導要領の改訂の趣旨や、次期学習指導要領で取り上げられている「見方・考え方」や「主体的・対話的で深い学び」の具体的な在り方についてのお話がありました。鳴川調査官の「目の前の子供たちのために」という言葉に、受講生も教員としてしっかりと向き合っていこう、という思いを強くもった様子でした。

午後は担当者から授業の進め方について、子供の興味を引き出す効果的な教材の提示の仕方や学習形態など、実際に行われた授業を例に講義が行われました。4月からの自分の授業を振り返りながら、これからの授業づくりのヒントにしようと、意欲的に取り組む受講生の姿が見られました。